

「鉄鋼技術の進歩」の編集について

編集委員長 佐 藤 忠 雄

日本鉄鋼協会創立 50 周年記念事業の一環として、会誌「鉄と鋼」臨時増刊号「鉄鋼技術の進歩」が刊行されることとなり、その編集に関する一切を日本鉄鋼協会編集委員会に委嘱されました。

本書の刊行企画に当り、その編集準備のために、協会創立 50 周年記念事業委員会の記念出版担当委員および下記の方々によつて小委員会を編成して、具体案を作成し、本委員会および理事会の承認を経て編集に着手致しました。

準備小委員会委員 (敬称略)

理 事	佐藤 忠雄	雀部 高雄	長谷川正義		
専務理事	田畑新太郎				
常務委員	内山 道良	梶山 正孝	松下 幸雄		
編集委員	阿部 秀夫	荒木 透	池田 義孝	加藤 健	菊地 敏治
	草川 隆次	中川 龍一	中村 正久	堀川 一男	山本 正義

日本鉄鋼協会創立以来の過去 50 年間にわたるわが国の鉄鋼技術の進歩の跡を顧みて、これをどのように本書に盛り込むかについて、小委員会の結論として、次の方針を樹てました。協会創立 40 周年以前に属することがらは、すでに会誌に掲載されておりますので本書に記述するテーマとしては、戦後とくに最近 10 年間に日本の鉄鋼技術が画期的な進歩発達を成し遂げた事実に基づいて、「最近 10 年間に発達した世界各国の現状を通じて、日本の新しい技術ならびに新しい製品を採り上げる」ことを基本として、製銑、製鋼、鋳物、加工、性質の 5 部門より、とくに進歩発達の著しかつた技術および製品についてテーマを選定いたしました。

執筆方針としては、

- (1) 選定された執筆テーマが、理論的あるいは技術的 (生産技術的) に現段階に到達するにいたつた過程を解説し、
- (2) 現段階から推量される将来への発展を期待する方向を述べる。

ことと致しました。従来この種の著書が無味乾燥な歴史の敘述に終る傾きがあることに鑑み、本書においてはとくに記述が歴史的経過の記録だけに終ることを避け、楽しく読んでもらえる記述、本書から将来への手掛りをつかめる内容であることを趣旨とし、また理論、設備、耐火物、原燃料、熱処理、機器分析、コンピューターコントロールなどの付属事項については、それぞれのテーマに含めて解説していただくことと致しました。

なお、執筆をお願いするに際して、各部門ごとに執筆上の参考として、準備委員会において話題に上つた具体的な内容について、委員会の雰囲気そのまま執筆者にお伝えして、全体の調和を計るとともに、本書企画の意図するところを記述に盛り込んで戴くよう努めました。

また各部門ごとにその冒頭に理論と技術の展望を、それぞれ主査の方々にご執筆戴きましたが、日本の最近における鉄鋼界は量的にも、また技術的内容においても、堂々と世界を圧する盛況を呈し、戦前には夢想だもなし得なかつた進展をみせており、この進歩のうちには脈々と続いた理論的、技術的研究成果の蓄積がその根幹をなしていることであり、生産技術の発展と、その基本的思想を生み出した理論的進歩の姿を、将来への予見をも含めて、それぞれの専門的立場で展望して戴いたものであります。

本書が、執筆者各位の御努力と、編集委員各位の御協力によつて、みごとに上梓されるに至りましたことをお慶び申し上げるとともに、深甚なる敬意と謝意を表し、また会長はじめ協会役員諸公のご協賛を得たことに対して厚くお礼申上げる次第であります。

「鉄鋼技術の進歩」編集委員会

編集委員長	佐藤 忠雄					
理事	茨木 正雄	大浜 侃	雀部 高雄	長谷川正義	辻畑 敬治	
専務理事	田畑新太郎					
常務委員	内山 道良	梶山 正孝	松下 幸雄			
委員	阿部 秀夫	荒木 透	安生 浩	池田 義孝	加藤 健	
	菊地 敏治	草川 隆次	小犬丸胤男	澤 繁樹	城野 邦正	
	周藤 悦郎	高橋 俊雄	中川 龍一	中野 弘一	中村 正久	
	中山 忠行	原 善四郎	藤田 利夫	堀川 一男	前田 一徳	
	山木 正義	若松 茂雄				